

1 主屋取合部三階 小屋組修理

取合部三階「望山楼」部分に
今月は軒足場を組んで、小屋組
や天井の修理に取りかかった。

屋根の北東と南東で雨漏りがあり、母屋や天井板が腐っていた。またほとんどの垂木端は、蜂によって穴が開けられていた。

このためいったん垂木を解体し、垂木の矧木・樹脂修理をするとともに、腐った天井板を張り替え、暴れを押縁で押さえている。来月にはこの部分の土居葺にかかりたい。



2 主屋土間台所部 根太打ち

屋根まわりの修理を進めるとともに、床下補強金具の取り付けが完了したので、土間台所部の根太の打ち付けと、高さ調整に取りかかった。写真はコゲンカンの修理状況。

根太は蟻害を受けているものがあり、これらは新材に取り替えた。各部屋の四隅で鴨居からのがりを見て根太天端を出し、パッキンをかませ一本ずつ高さを調整して打ち付けている。



3 主屋 古釘戻し

解体した部材の釘仕舞いをするごとに、古釘を保管してきているが、これらの釘のうち、再用できる釘を、叩き延ばす作業もすすめている。

釘の使われていた部位にもよるが、抜いたさいに巻頭部分が折れた釘が大半である。再用できるのは抜いた釘の1割弱といったところであろうか。延ばした古釘は、この先の工事で順次使用していく予定である。

